

一発逆転！ 反対のことば

埼玉県松伏町立松伏第二小学校教諭

堀 葉子



子どもたちに、反対の意味のことばがたくさんあることに気づかせたくて『くもんの反対ことばカード』（くもん出版 一九九八年発行）を利用して、カードを作りました。

まず、絵も一緒に描かれたカードを、表にしたり裏にしたりして遊ぶことにしました。子どもたちは、ことば一つでその絵が逆転することの楽しさに大喜び、「みんなでこういう反対のことばを集めて本にしよう。」と呼びかけました。「先生、楽しそうだからやりたい。」と子どもたちはすぐ興味をもってくれました。（埼玉県吉川市立旭小学校 一九九九年 度 二年一組 26名で実践）



は、「小さい」のカルタを探して取るのです。子どもたちは、「一発逆転！」というフレーズがとてもおもしろ

1 単元の流れ
一時間目 二人一組になり、反対のことばをたくさん集めます。「暑い」「寒い」「きれいな」「きたない」というようにノートに書いていきます。その際、私は「暑くない・きれいでない」という形のことはにならないようにアドバイスしました。

二・三時間目 子どもたちがたくさん集めたことばを、一組ずつカードにし、イラストも添えることにしました。渡した用紙は白上質紙（B5）、「みんなで作る『一発逆転！反対のことば』の本の印刷原版になるからね。」と言つと、子どもたちは、丁寧に書いていました。八十の反対のことばができました。縮小コピーし、厚紙に貼らせてカルタにもしてみました。カルタには、読み札と取り札が必要ですが、このカルタはどちらにもなります。遊び方は普通のカルタと違って、読み手が「大きい・一発逆転！」と言つと、取り手

3 一発逆転！のクイズ

一発逆転！をクイズ形式にして遊んだ子どもたちも出てきました。「一発逆転クイズ！第一問・『短い』の反対のことばは何でしょう。」「はい、『長い』です。」「当たり前です。」「第二問・『厚い本』の一発逆転の本はどんな本ですか。」「はい、『薄い本』です。」「はい、当たり前です。」「というように次々にクイズを出し、楽しそうに答えていました。

4 一発逆転！の歌

子どもたちは音楽の教科書の歌「うみ」や「大きな歌」を替え歌にしてみました。これも一発逆転！の発想から出たものとおもしろく感じました。

「うみは ひろいな おおきいな つきが のぼるし
ひが しずむ」（文部省唱歌・うみ）
「うみは せまいな ちいさいな つきが しずむし
ひが のぼる」（替え歌）

反対のことばは、おもしろいものです。「暗い心」が「明るい心」になります。子どもたちが、そういうことに気づいてくれればいいなと思いました。

教科書では、言葉の広場「言葉のなかま集めをしよ」（三年下）で「反対の意味の言葉」を扱っています。三年生でも、楽しい試みができると思います。

2 一発逆転！のダンス



カルタの単元は、ここまでで終わりましたが、子どもたちにとって、よほど印象深かったのか、折りに触れていろいろな遊びを作っていました。女の子たちの何人かが、「先生、一発逆転！のダンスもできるよ。」と提案してくれました。『一発逆転！反対のことば』の本（総ページ120）を開いて、「右・左」「上・下」「のびる・ちぢむ」などのことばを選び、組み合わせでダンスに表現します。「右手を上げて、トントントン、左手下げてトントントン……」などと楽しそうに見せてくれました。それを見ていた男の子たちは「体操もできるよ。」と体操を作りました。どれも反対のことばを身体表現したもので、子どもってすごいなと感じました。